



広島経済大学 キャリアアップ・プログラム通信(第 213 号)

2018 年 6 月 14 日 配信



◆広島経済大学 社会人対象講座キャリアアップ・プログラム◆

<http://www.hue.ac.jp/visitors/local/careerup/index.html>

◇広島経済大学 カルチャー講座◇

<http://www.hue.ac.jp/visitors/local/culture/index.html>

◇キャリアアップ・プログラム講師のリレーコラム◇

「タイの様々な顔」

キャリアアップ・プログラム 1 学期「日本経済入門」講師

広島経済大学 経済学部経済学科 教授 野北晴子

日本人の旅行先として人気のある「微笑みの国」タイ。川面に映る荘厳な寺院に賑やかな水上マーケット、アユタヤの古代遺跡には人を乗せて歩くゾウの姿が、そして南ではエメラルドグリーンの海が人々の心を旅へ誘います。

その一方で、2014 年の軍事クーデターによる暫定政権の樹立と、その後の民主的な選挙の度重なる延期の報道は、抑圧されているタイ人のイメージを与えます。しかし、外務省の安全情報でも、一部を除いて危険レベル 1 にすらなっていない。

バンコクの中心部は車であふれ、毎日、激しい交通渋滞に悩まされています。そして、優雅なデザインのデパートや豪華なホテルが立ち並ぶメインストリートの頭上には高架鉄道(BTS)が走り、地下鉄と合わせて中間層を形成する人々の重要な通勤の足となっています。しかし、地方へ行けば田畑が広がります。この国の就業人口の 1/3 は農民ですし、国民は敬愛する元国王に思いを寄せます。

そのようなタイと日本との経済的な関係という側面で見れば、その深さに驚かされます。日本企業の進出は 1950 年代から既に始まっており、商工会議所の設立は 1954 年、日本の文部省認定の日本人学校は、1956 年のバンコク設立が最初でした。国土は日本の約 1.4 倍、首都バンコクの人口は 800 万を超えていますが、タイ全体の人口は約 6700 万人です。それにも関わらず、日本のバンコク商工会議所は在外として世界最大規模ですし、日本人学校の生徒数もタイが最も多いのです。

日本企業の多くはタイを、ASEAN もしくはインドや中東までも含む広域アジアの拠点として位置付けています。2011 年のタイの大洪水の時には、多くの日本企業の工場が水に浸かり、世界のサプライチェーンに大きな影響を及ぼしました。

今の軍事政権の政策運営を見ると、巧みな戦術が見え隠れします。クーデターで政権を追われた前インラック首相は、同じくクーデターで政権を追われたタクシンの妹です。彼女はファーストカー・プログラム(一台目の自動車購入に税還付)を導入し、都市と地方の所得格差が非常に大きいにも関わらず、全国一律 300 バーツに最低賃金を上げました。このことは、需要の先取りとなり、その後、消費は低迷していきました。

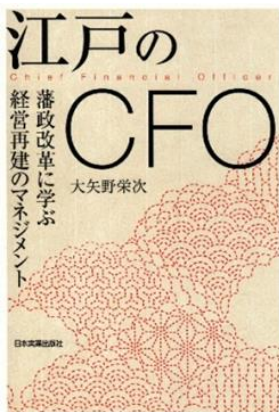
しかし、プラユット暫定首相は、日本や中国の援助や融資で次々と鉄道や道路の整備を進めています。このことは国内の景気引き上げに寄与し、進出した企業の物流コストを下げています。タイはミャンマー、ラオス、カンボジア、ベトナムに囲ま

れ、インドシナ半島の中心に位置します。そこを舞台に日本と中国が激突します。東西に延びる経済回廊を担う日本と、南北の経済回廊整備を担う中国の競争です。経済統合でクローズアップされる ASEAN の国々ですが、だからこそタイの暫定政権は投資の吸引力を維持するために、新たな長期開発ビジョンを発表しました。直接・間接に日本経済に大きな影響を及ぼすタイ。日本政府と日本企業は、そのしたたかな戦略に右往左往しそうです。

>>次号は、1 学期「Excel で学ぶ統計入門」、3 学期「ビジネスに応用 実践データ分析」講師 貫名 貴洋先生が担当されます。

◆今週の一冊◆

野北先生おすすめの一冊です。



『江戸の CFO～藩政改革に学ぶ経営再建のマネジメント』 大矢野 栄次 著 日本実業出版社

マネジメント本ですが、執筆者は経済学者です。徳川体制下で、各藩が多額の借金を背負うことになった背景とその分析、そして具体的な 5 つの「改革」ストーリーから構成されています。米沢藩の上杉鷹山はあまりにも有名ですが、備中松山藩の山田方谷の奮闘が、幕末における藩とその領民を救ったことは、ほとんど知られていないのではないのでしょうか。その他、松代藩、長州藩、そして今話題の薩摩藩の異色のケースがあり、興味のあるものから読み始められます。

◎事務局から◎

2 学期講座「財務会計・会計監査の基礎」不開講のお知らせ

2 学期開講予定の「財務会計・会計監査の基礎」が不開講となりました。受講をご検討されていた皆様にはお詫び申し上げます。

2 学期、3 学期の受講生を募集しております。

講座の詳細、お申し込みについては次の URL からご確認ください。

《キャリアアップ・プログラム》

<http://www.hue.ac.jp/visitors/local/careerup/index.html>

《カルチャー講座》

<http://www.hue.ac.jp/visitors/local/culture/index.html>

※ご意見・ご感想はこちらまで career-up@hue.ac.jp

※メールの配信停止は、次のメールアドレスにご一報ください。

その際は、必ずお名前を記入してください。

career-up@hue.ac.jp

※広島経済大学 公式HP <http://www.hue.ac.jp/>

発信元: 広島経済大学 教育・学習支援センター キャリアアップ・プログラム事務局 (082-871-9345)